

■入会を検討中の方へ

みなさんが負担と感じることはお願いしません。それぞれが出来る範囲でちからを貸していただけますでしょうか。具体的にお願い出来る時がきましたらご都合をお聞きします。また、入会費と年会費は無料となっておりますのでご安心ください。

■違いが豊かさとして響き合う社会とは

一人ひとりの個性が認められ、その「違い」は、社会の中で違いのままあるのではなく社会を成長させていく力になると信じています。この言葉を教えてくれたのは、地域との結びつきと愛情の大切さを教えてくれた最も敬愛する方のひとりであります、元小学校の校長先生です。先生もわたしの活動を応援してくれています。

■プロフィール

中本 誠 (なかもと まこと) 無所属

宮前区土橋在住

- * 明治大学政治経済学部卒業
- * 明治大学マンドリン倶楽部OB会
- * 宮前平中学校 元PTA会長(3年間)
- * 土橋小学校 元PTA会長(4年間)
- * 土橋小学校 校歌作詞者
- * 宮前平中学校区地域教育会議 元子ども部会長
- * 川崎市宮前区PTA協議会 元監査
- * 昭和39年8月16日生まれ
- * 家族：妻、長男、長女

■職務履歴

1988年3月、明治大学政治経済学部卒業。
同年4月、大手楽器メーカーに入社。
同社を退職後、大手教育出版系会社、大手地図出版系会社、資産管理会社等を経て、2004年1月、株式会社リブランズ設立に参画(NTT DoCoMo・au by KDDI・SoftBank 公式コンテンツ配信およびホームページ制作事業)。

2005年10月、同社専務取締役就任。2009年5月、同社代表取締役社長に就任、現在に至る。

■後援会について

名 称	中本 誠 後援会事務所
住 所	〒216-0005 川崎市宮前区土橋4-3-2-503
電話/ファックス	044-571-9639
メールアドレス	makoto@nakamoto.info
ホームページ	https://nakamoto.info 「なかもとまこと」で検索

■後援会規約抜粋

名 称	中本誠 後援会
目的	本会は、中本誠氏の政治活動を後援することを本来の目的とし、あわせて会員相互の親睦を深めることを目的とする。
事業	本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。 1 講演会、座談会等の開催 2 会報等の発刊及び配布 3 関係諸団体との連携 4 その他本会の目的を達成するために必要な事業
会員	目的に賛同し、入会申込書を提出した者をもつて会員とする。 ※入会金 / 年会費 無料

■入会方法

1. ホームページの後援会ページの入会希望フォームより必要事項をご記入の上で送信ください。

<https://nakamoto.info/support>

2. メールで入会

以下内容を明記して [makoto@nakamoto.info]宛にメールしてください。

お名前・フリガナ・生年月日・住所・電話番号・メールアドレス・中本誠後援会に入会します。

※入会金 / 年会費 無料

なかもとまこと

検索 

後援会発足

なかもとまこと

中本 誠

「違いが豊かさとして響き合う
みんなのまちみやまえ」



中本誠後援会事務所

連絡先 川崎市宮前区土橋4-3-2-503
電話 044-571-9639

討議資料

つながるこころ ちからをあわせ
はじける笑顔 しあわせいっぱい
みんなのまち みやまえ



■ごあいさつ

わたしが地域活動に参加することになったきっかけは、川崎市立土橋小学校が開校した際に、地域の人、先生方、保護者の方々などに選んでいただき、校歌の作詞者にさせていただいたことです。

その後、土橋小学校で4年間、宮前平中学校で3年間、合わせて7年間、PTA会長をやらせていただきました。仕事人間のわたしでしたが、PTA活動を通して、地域との結びつきの大切さなどを学ばせていただきました。

例えば、通学路に危険があるかを保護者と子どもたちで調査して、学校の先生と、地域の人と一緒に各管轄行政の方に実情を説明して対応して貰っていることを知りました。皆さんのそれぞれのちからが集まって、はじめて成し遂げることができるということを教わりました。

一人ひとりのちからをつけないで「みんなのまち」にして行けたらと考えております。

■提言

「働き方改革」推進にともない教職員の勤務時間が削減される可能性があります。今まで学校で行われていた部活動や学習の一部を地域や外部で担うことを検討する必要があります。

この地域は元気なお年寄りが多くいらっしゃいます。学校と連携して子どもに学習や経験を教えられる場を作ることで、生きがいが出てくると考えます。

■政策

1 | 教育

子どもたちが、
すくすくと健やかに育つように

- ◆ 地域と学校が一体となる教育体制づくり
- ◆ 教職員が無理なく働けるように
- ◆ 教育設備の充実

2 | 福祉

生き生きと、つながるちから
コミュニティ

- ◆ お年寄りが主体となるコミュニティ形成支援
- ◆ バリアフリーで思いやりのある優しいまち
- ◆ 介護支援制度の拡充

3 | まちづくり

みどりとまちが調和、
そして便利なまち

- ◆ 散歩をしたくなるまちづくり
- ◆ 鷺沼駅前再開発 ◆ 公共施設の拡充

段差や障害物を無くして、安全な道路にすることも必要ですが、公共施設などで表示を大きくする、聴き取り易くする工夫をするなどの対策も大切です。

また、緑を増やしていくれば散歩をしたい気持ちになり健康増進につながると考えます。鷺沼駅の再開発は公共施設に加えて新しいコミュニティーの場所が有効と考えます。